

台本 L.ダ.ボンテ モーツァルト作曲

オペラ・ブツファ

コシ・ファン・トゥツテ

～女はみんなこうしたもの～

カウベルホール

2006年

11月4日(土)18:30～

11月5日(日)14:00～

指揮 松岡 究



1987年東京オペラ・プロデュース公演「ピバ！ラ・マンマ」(ドニゼッティ)を指揮してデビュー。その後文化庁優秀舞台奨励公演で「蝶々夫人」(プッチーニ)、「オテロ」(ロッシーニ)を指揮。1991年文化庁在外派遣研修員としてハンガリー国立劇場に留学。帰国後、「ロミオとジュリエット」(グノー)と「ペアトリスとベネディクト」(ベルリオス)の日本初演、「恋愛禁制」(ワグナー)の本邦舞台初演も手がける。そのほか「カプリッチョ」「無口な女」「二人のフォスカリ」「一日だけの王様」「カルメン」「椿姫」「ハムレット」等の作品も高く評価されている。また、新国立劇場には「ねじの回転」(プリテン)、「ドン・ジョヴァンニ」(ガッツァニーガ)などで既に登場しているオペラ指揮のベテランである。

鳥取県では、ミックス室内オーケストラ結成以来全てのコンサートに登場している。これまで6回の「第九」公演のほかモーツァルトとフォーレの「レクイエム」や「短調ミサ」「グロリア」「メサイア」で米子第九合唱団公演を指揮し、高いレベルでの公演を実現している。また、2005年秋、祝祭オーケストラ鳥取を指揮し圧倒的な成功をおさめた。オペラではこれまで鳥取オペラ協会設立以来、「フィガロの結婚」「魔笛」「ドン・ジョヴァンニ」、国民文化祭オペラ公演の新作オペラ「ボラーノの広場」初演およびその再演を指揮し高く評価された。昨年公演では「アマールと夜の訪問者」(メノッティ)を指揮し好評を博した。

現在、東京オペラ・プロデュース指揮者、ルーム財団の派遣による在外派遣研修員としてベルリンにて研鑽を積んでいる。

演出 中村 敬一



1957年東京に生まれる。声楽科を志し、武蔵野音楽大学同大学院で声楽を専攻。卒業後、舞台監督集団「ザ・スタッフ」に所属してオペラスタッフとして活躍。以後、鈴木敬介、栗山昌良、三谷礼二、西沢敏一各氏のアシスタントとして演出の研鑽を経て1989年より、文化庁在外派遣研修員としてウィーン国立劇場にてオペラ演出を研修。帰国後、リメイク公演「フィガロの結婚」、二期会公演「ドン・ジョヴァンニ」「ポッペアの戴冠」の公演で高い評価を得、続く二期会公演「三部作」(プッチーニ)、東京室内歌劇場公演「ヒロシマのオルフェ」、日生劇場公演「笠地蔵・北風と太陽」で演出力が絶賛され、1995年、第23回ジローオペラ新人賞を受賞する。

1996年のザ・カレッジ・オペラハウスでの「三部作」をきっかけに、関西歌劇団「コシ・ファン・トゥッテ」関西二期会「シャーロックホームズの事件簿」など関西での活躍も活発となる。2000年3月には新国立劇場デビューとなった「沈黙」が高く評価された。2001年大阪舞台芸術奨励賞を受賞。

2002年国民文化祭オペラ公演「ボラーノの広場」公演の台本と演出を担当した。音楽的な視野と感性による舞台づくりは広く認められ、また、若い声楽家の指導を行い、オペラの普及に尽力している。

これまで鳥取オペラ協会全ての公演の演出を手がけ、その育成に甚大な貢献をしてきている。国立音楽大学、大阪音楽大学講師。

フィオルディリージ 尾前加寿子(4日)



作陽音楽大学声楽科卒業。モーツァルトテウム音楽院(オーストリア)にて学ぶ。坂本朱美、ルドルフ・クノール、村田健司、飯田純子、平野弘子の各氏に師事。1991年、韓国記念リサイタル後、リサイタル2回。1996年、モーツァルト「レクイエム」ソリスト(米子公演)、鳥取オペラ研究会公演「河童篇」「字うさぎまじろのお話」、1998年アザレアのまち音楽祭、鳥取オペラ協会公演「フィガロの結婚」にスザンナ役、2000年「魔笛」公演ではパミーナ役で好演する。国民文化祭とつとり2002オペラ「ボラーノの広場」公演でロザーロ役を歌い好評を得る。鳥取県の音楽家たちコンサート出演。現在みずばしよコーラス、のぞみ会ミルフィーユ指揮者。鳥取ソリスト、鳥取オペラ協会会員。

フィオルディリージ 恩田 千絵(5日)



鳥根大学教育学部特別音楽課程(声楽)卒業。藤井文子、白石由美子、中澤桂の各氏に師事。これまでオペラには「フィガロの結婚」のケルビーノ、「魔笛」のダーム、「ボラーノの広場」のミーロ役で出演し、高い評価を得た。再演された「フィガロの結婚」のケルビーノ、「ボラーノの広場」のミーロ役で成功をおさめ、その存在感を示した。昨年は「アマールと夜の訪問者」でアマール役で出演し、好評を博した。平成15年度鳥取県声楽オーディションにおいて、「審査員特別奨励賞」、昨年の第11回日本声楽コンクール入選。また、アザレアのまち音楽祭に連続して登場している。松本油店勤務。わらべ館楽謡唱歌推進員。鳥取オペラ協会会員。

ドラベッラ 米澤 幸(4日)



鳥根女子短期大学卒業。平野弘子氏に師事。1996年、モーツァルト「レクイエム」米子公演にソリストとして出演。鳥取オペラ研究会公演「河童篇」「字うさぎまじろのお話」に出演。オペラでは、「コシ・ファン・トゥッテ」にドラベッラ役で、「フィガロの結婚」にマルチェリーナ役で、「魔笛」にはダーム役で出演し好評を得る。鳥取オペラ協会会員。

ドラベッラ 浜中 雪絵(5日)



作陽音楽大学音楽学部音楽学科声楽専攻卒業。阿部靖子、森山敏雄、齋藤、平野弘子の各氏に師事。これまで鳥取オペラ協会公演「フィガロの結婚」「ボラーノの広場」「アマールと夜の訪問者」に合唱参加、「ドン・ジョヴァンニ」ドンナ・エルヴィーラ役、「バステアンとパステイエンヌ」バステイエンヌ役で出演。鳥取オペラ協会会員。

デスピーーナ 小椋美香子(4日)



作陽音楽大学声楽科卒業。同大学専攻科修了。在学中からオペラマイスターコースに在籍し、研究生課程を修了。船瀬幸子、西内玲、フォルカー・レニッケ、小松英典の各氏に師事。オペラには「コシ・ファン・トゥッテ」にフィオルディリージ役、「フィガロの結婚」にはスザンナ役、「魔笛」ではパバゲーナ役で出演している。再演の「フィガロの結婚」で再びスザンナ役を歌い、大成功をおさめた。国民文化祭とつとり2000オペラ「ボラーノの広場」公演で床屋の娘方役を歌って好評を得る。わらべ館楽謡唱歌推進員。鳥取オペラ協会会員。



デスピーナ 野津美和子 (5日)



鳥根大学教育学部特別音楽課程(音楽系)卒業。声楽を藤井文子、常森寿子各氏に師事。オペラ「フィガロの結婚」(ひびりリーナ)、「魔笛」(クナーベ)、「ドン・ジョヴァンニ」(ツェルリーナ)、「ボローノの広場」(ファゼーロ)、ハイライト版「椿姫」(ヴィオレッタ)、「ラ・ボエーム」(ミミ)、「妾の妙業」(アディーナ)等に出演。昨年の鳥取オペラ協会公演「アマールと夜の訪問者」ではアマールを演じ好評博した。ミュージカル「くじけ」(出雲の姫)、「ミサ・ソレムニス」(第九)にソプラノソリストとして出演。また昨年、益田市市のグラントワのオープニングコンサートにゲストとして出演。第6回日本クラシックコンクール全国大会入選。その他数々のコンサートに出演している。

フェルランド 松本 厚志 (4日・5日)



鳥取大学教育学部卒業。由良育英高校、鳥取大学混声合唱団フィルコールに所属し、佐々木道也氏に師事。その後、混声合唱団「みお」を経て、男声合唱団「虹」鳥取男声合唱団にて活躍している。1999年、鳥取オペラ協会公演「フィガロの結婚」に合唱参加。翌年「魔笛」にモノスタス役でソリストデビューし好評を得る。「フィガロの結婚」バジリオ役、国民文化祭とつとり2002オペラ「ボローノの広場」で村人役を取った。そのほか、「ドン・ジョヴァンニ」ではオッターヴィオ役、昨年の「アマールと夜の訪問者」ではカスパール役で好評を得た。現在倉吉市立山守小学校教頭として勤務。鳥取オペラ協会会員。

グリエルモ 山田 康之 (4日・5日)



鳥取大学教育学部卒業。西岡千秋氏に師事。1996年、鳥取オペラ研究会公演「河童譚」「うさぎまじろのお話」に出演。1998年、アゼリアのまち音楽祭(リトノ・ソロコンサート)に出演。オペラ出演はこれまで「コシ・ファン・トゥッテ」のグリエルモ役、「フィガロの結婚」では二度のタイトルロールを戴き、「魔笛」ではノバグーン役をこなした。国民文化祭とつとり2002オペラ「ボローノの広場」公演においてテーマ役を戴き高い評価を得てきている。昨年は「アマールと夜の訪問者」でもメルキオール役を戴き好評を博した。現在、倉吉市立上北小学校に勤務。鳥取オペラ協会理事。

ドン・アルフォンソ 西岡 千秋 (4日)



武蔵野音楽大学大学院声楽専攻修了。市田キヨ子、疋田生次郎の各氏に師事。県内においては第九公演のソリストを務めたり、アゼリアのまち音楽祭、鳥取県民の音楽家たちコンサートなど常連演奏家として活躍している。県内公演のオペラではこれまで「電話」「コシ・ファン・トゥッテ」「フィガロの結婚」「魔笛」「フィガロの結婚」再演、「ドン・ジョヴァンニ」などに出演し続けている。国民文化祭とつとり2002オペラ「ボローノの広場」公演では、成功の礎となつて活躍した。鳥取オペラ協会の公演全作のプロデューサーとしても活躍している。現在、鳥取大学地域学部助教授。鳥取オペラ協会副会長・演奏部長。

ドン・アルフォンソ 吉田 章一 (5日)



鳥取大学教育学部卒業。広島大学大学院学校教育研究科修了。声楽を小松英典、西岡千秋、佐藤展、吉田征夫、平野弘子の各氏に師事。ソロ・コンサート、ジョイント・コンサートのほか、モーツァルトやフォーレのレクイエム、パッサのヨハネ受難曲等のソリストを務めた。オペラではモーツァルトの「コシ・ファン・トゥッテ」「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」に出演。特に2002年の国民文化祭オペラ公演「ボローノの広場」では主役のキューストを戴き任意的な成功をおさめた。一昨年の再演では、全国レベルで通用する風格を見せた。また、特筆に値するのはドイツリートに対する造形の深さと演奏力の高さには定評がある。鳥取オペラ協会理事。

鳥取オペラ協会声楽アンサンブル



ソプラノ 佐々木まゆみ 佐々木まゆみ 銭亀 睦美 中村ひろ子 山根 修子
テノール 小谷 弘幸 テノール 藤光 洋志 バス 人見 晴悟 バス 小山 雅彦

ミンクス室内オーケストラ

鳥取大学医学部特任教授の吉田明雄氏が主宰する、極めてハイレベルな室内オーケストラであり、設立当時から指揮を担当する松岡究氏の薫陶を求め、各地のオーケストラから参集したメンバーによって構成されている。よりレベルの高い音楽の追求を行いたいと、音楽家としての自立を求めるアマチュア演奏家にプロ演奏者がゲスト参加して、素晴らしい音楽を紡ぎ出す限りなくプロに近い演奏集団である。



1st Vn	吉田 明雄 曾田 千鶴 佐倉 伸一 野村 知則	Vc	須々木竜紀 原田友一郎 中野 俊也	Fg	木村 恵理 橋本美紀子 石和田 淳
2nd Vn	永江 佳代 益尾 恵美 木下 雄介 菊池 優理	Cb	渡辺 琢也 大津 敬一 福田 真司	Hn	小椋智恵子 玉川 勝寿 五島 康文
Vla	定立 淳 松永 佳子 長田 直樹 北山三枝子	Ob	古川 雅彦 上代 美樹 杉山 清香 山田 祐司 柳葉由美子	Tp	山口 麻紀 村井 克弘 稲毛 麻紀



副指揮 新倉 健



1951年神奈川県川島生まれ。作曲を福島雄次郎、金光威和雄、指揮法を長谷川朝雄、久保田洋の各氏に師事。主な作品に「マドリガル」「ゴング・エカサマ・ブダヤ」「歌の祭」「セント・ギガ」などがある。また、NYタイムズにより好評を得た「広島が言わせる言葉」をはじめ「ギータンジャリ」(ドイツで出版)、「ワープ&ウーフ」(フランスで出版)、「歌の祭」(オランダで出版)等は海外でも評価を得ている。数々の舞台作品も発表しているが、特に、2002年に初演されたオペラ「ボローノの広場」が絶賛されたことは記憶に新しい。現在、鳥取大学地域学部教授、鳥取オペラ協会副会長。

□スタッフ

プロデューサー	西岡 千秋	ピアニスト	稲毛 麻紀
装 置	スタッフ・ユニオン		加藤 文女
照 明	桜木 実		兼田恵理子
舞 台 監 督	山中 舞		野田 明代
演 出 補	唐谷 裕子		谷本 智子
	西岡 千秋		山下 良子
副 指 揮 補	横山 大輔		山本 善三
マネージャー	三好 芳子		山根 修子
	鈴木百百子		
	谷岡 弘栄		

企画制作 計羽 孝之